



Daigas
Group

2025年3月期 第3四半期決算 プレゼンテーション資料

2025年2月3日

大阪ガス株式会社

証券コード 9532

目次

I. 25.3期 第3四半期決算と見直し修正の概要	- 2	II. 25.3期 第3四半期決算の対前年比較	- 10-15
• 25.3期 第3四半期決算のポイント	- 3	• 25.3期 第3四半期決算の対前年比較	
• 25.3期 第3四半期決算の対前年比較(経常利益)	- 4	III. 25.3期 見通しの対前回見直し比較	- 16-21
• 25.3期 見直し修正について	- 5	• 25.3期 見通しの対前回見直し比較	
• 25.3期 見通しの対前回見直し比較(経常利益)	- 6	IV. 25.3期 見通しの対前年実績比較	- 22-27
• 25.3期 見通しの対前年実績比較のポイント	- 7	• 25.3期 見通しの対前年実績比較	
• 25.3期 見通しの対前年実績比較(経常利益)	- 8	V. 補足情報	- 28
• 成長投資と株主還元の実績と見直し	- 9	• 通期見直しに対する主な収支変動要因	- 29
		• 原油、為替の推移とタイムラグ(ガス)の状況	- 30
		• IR参考資料	- 31

インターネットを通じて定期的に経営情報を発信しています：下記のURLで、決算短信、統合報告書、ファクトブック、説明会資料等を閲覧・ダウンロードすることが可能です。
<https://www.daigasgroup.com/ir/>

「見直し」に関する注意事項：このプレゼンテーションには、将来の業績に関する見直し、計画、戦略等が含まれており、これらは現在入手可能な情報から得られた当社グループの判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績の見直しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、日本経済の動向、急激な為替相場・原油価格の変動並びに天候の異変等があります。

25.3期見直しについては、2024年10月31日公表の自己株式の取得による影響を考慮しています。(ただし、「DOE」、「配当性向」、「一株当たり当期純利益」及び「一株当たり純資産」は除く。)

国内ガス販売量に関する注記：全て、基準熱量を45MJ/m³として、表記しています。名張近鉄ガス・新宮ガスは12月決算です。

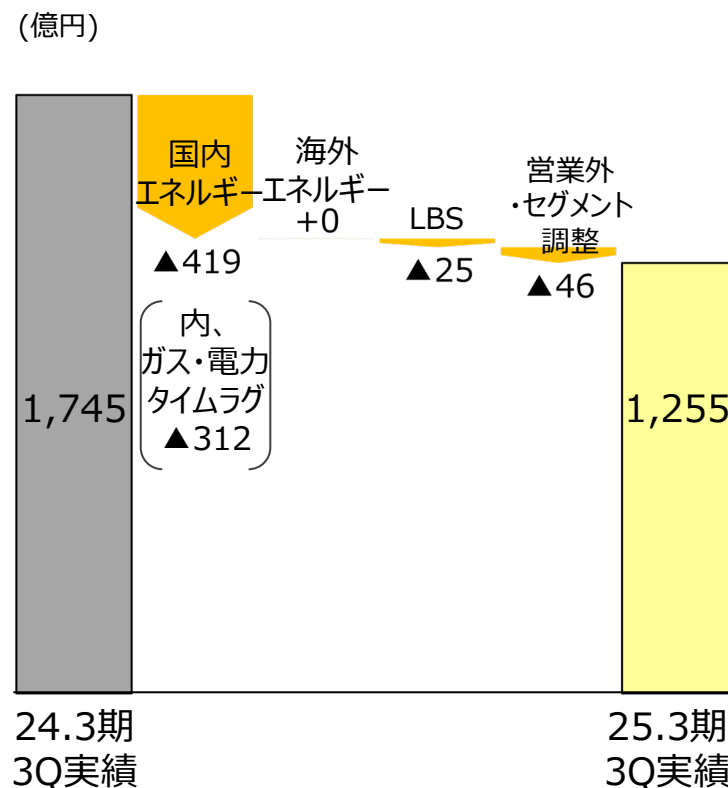
I . 25.3期 第3四半期決算と 見通し修正の概要

25.3期 第3四半期決算のポイント

- ✓ 売上高は、国内エネルギー事業で電力販売量が増加したものの、LNG販売量が減少したことや原料費調整制度に基づきガス販売単価が低めに推移したことなどにより減収。
- ✓ 経常利益は、国内エネルギー事業でタイムラグ差益が縮小したことなどにより減益。
- ✓ 財務健全性は、中期経営計画で示す「自己資本比率45%以上、D/E比率0.8以下」を確保。

(億円)	25.3期 3Q実績	24.3期 3Q実績	前年差
売上高	14,441	15,101	▲660
経常利益	1,255	1,745	▲490
親会社株主に帰属する 当期純利益	908	1,264	▲355

経常利益 前年差(▲490億円)の概要

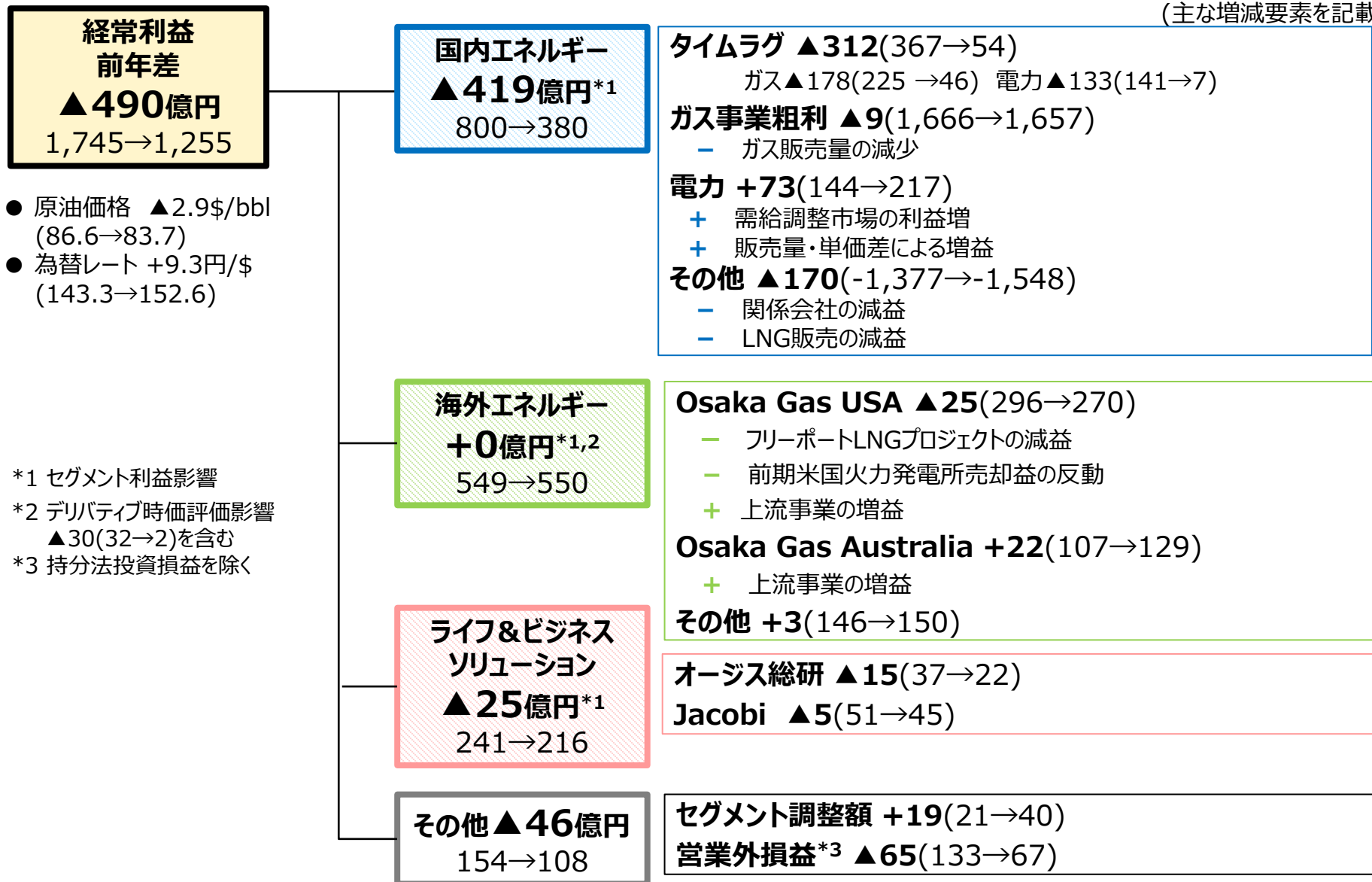


	25.3期 3Q実績	24.3期 期末実績	前期末差
自己資本比率 (%) ^{*1}	51.6%	55.9%	▲4.2%
D/E比率(倍) ^{*1}	0.64	0.51	+0.12

*1 発行済ハイブリッド社債の資本性50%を調整

25.3期 第3四半期決算の対前年比較(経常利益)

(主な増減要素を記載)



- 原油価格 ▲2.9\$/bbl (86.6→83.7)
- 為替レート +9.3円/\$ (143.3→152.6)

*1 セグメント利益影響
 *2 デリバティブ時価評価影響 ▲30(32→2)を含む
 *3 持分法投資損益を除く

25.3期 見通し修正について

- ✓ 25.3期見通しについて、4Qの為替前提を145円/\$から150円/\$に変更する。
- ✓ 売上高、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、前回(2024年10月31日公表)見通しから変更はないが、国内エネルギーのセグメント利益内訳およびBSの見通しの一部を修正する。

(億円)	25.3期 見通し	25.3期 前回見通し	前回見通し差
売上高	19,860	19,860	±0
経常利益	1,530	1,530	±0
タイムラグ影響を除く	1,440	1,410	+30
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,120	1,120	±0
ROIC(%)* ¹	4.7%	4.7%	▲0.0%
タイムラグ影響を除く	4.4%	4.4%	+0.0%
ROE(%)	6.9%	7.0%	▲0.1%
タイムラグ影響を除く	6.5%	6.5%	+0.0%
自己資本比率(%)* ²	54.1%	53.9%	+0.2%
D/E比率(倍)* ²	0.58	0.59	▲0.02

国内エネルギーの
セグメント利益
内訳のみ修正
(次ページ)

タイムラグ影響を除く
水準は維持

*1 ROIC = NOPAT ÷ 投下資本(期首期末平均)
NOPAT = 経常利益 + 支払利息 - 受取利息 - 法人税等
投下資本 = 自己資本 + 有利子負債残高(当社にリスクのないリース負債除く)

*2 発行済ハイブリッド社債の資本性50%を調整

25.3期 見通しの対前回見通し比較(経常利益)

(主な増減要素を記載)

**経常利益
前回差
±0億円**
1,530→1,530

**国内エネルギー
±0億円*1**
545→545

タイムラグ ▲30(120→90)
 ガス▲20(110→90) 電力▲10(10→0)
ガス事業粗利 ▲30(2,443→2,413)
 - ガス販売量の減少等
電力 +60(240→300)
 + 需給調整市場の利益増等
その他 ±0(-2,258→-2,258)

**海外エネルギー
±0億円*1**
705→705

**ライフ&ビジネス
ソリューション
±0億円*1**
300→300

その他 ±0億円
-20→-20

内訳の修正なし

- 原油価格 +0.8\$/bbl (80.9→81.7)
25年1月以降の油価前提
±0\$/bbl (75.0→75.0)
- 為替レート +3.1円/\$ (148.9→152.0)
25年1月以降の為替前提
+5.0円/\$ (145.0→150.0)

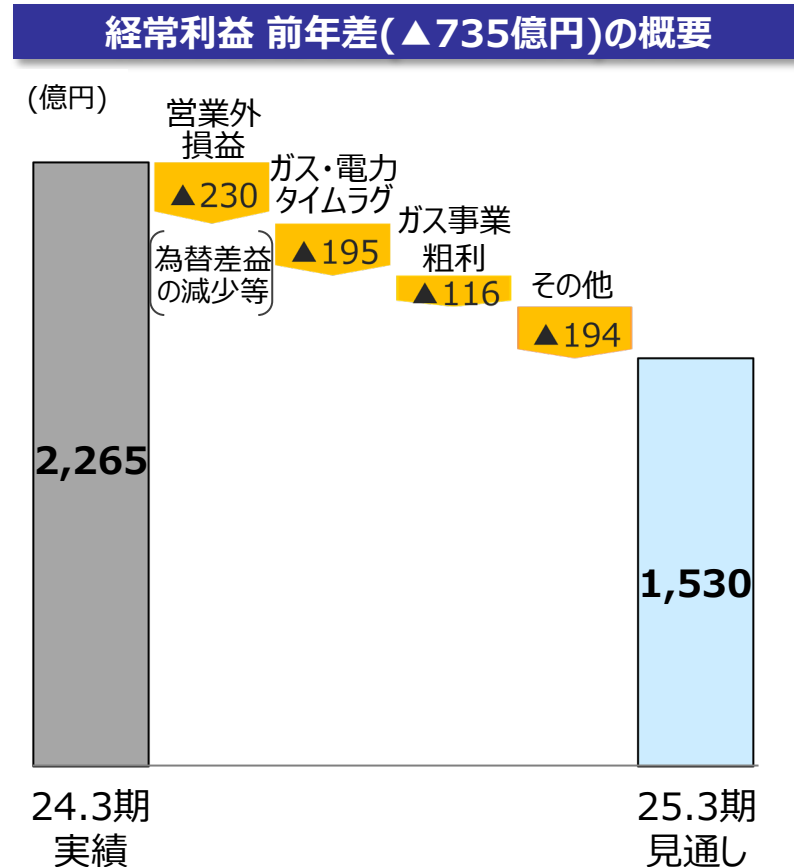
*1 セグメント利益影響

25.3期 見通しの対前年実績比較のポイント

- ✓ 売上高は、国内エネルギー事業におけるLNG販売量の減少等により、24.3期に比べて減収となる見通し。
- ✓ 経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、原料調達に伴う為替差益等の前年度の一時的な増益の反動や、タイムラグ差益の縮小等により、24.3期に比べて減益となる見通し。

(億円)	25.3期 見通し	24.3期 実績	前年差
売上高	19,860	20,830	▲970
経常利益	1,530	2,265	▲735
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,120	1,326	▲206
ROIC(%)* ¹	4.7%	7.0%	▲2.3%
ROE(%)	6.9%	8.9%	▲2.0%
自己資本比率 (%)* ²	54.1%	55.9%	▲1.8%
D/E比率(倍)* ²	0.58	0.51	+0.07
配当額(円/株)	95.0	82.5	+12.5

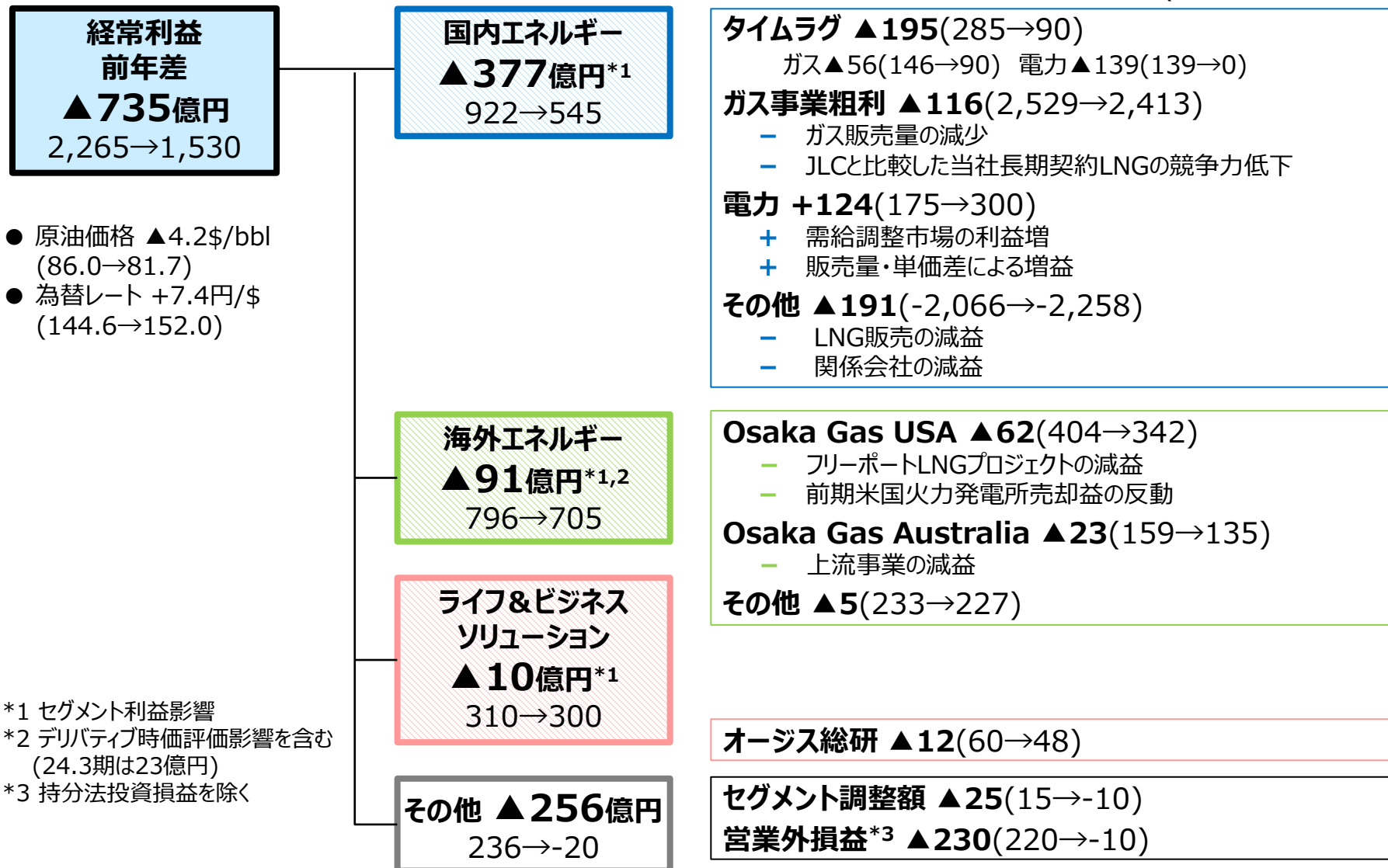
- *1 ROIC = NOPAT ÷ 投下資本(期首期末平均)
 NOPAT = 経常利益 + 支払利息 - 受取利息 - 法人税等
 投下資本 = 自己資本 + 有利子負債残高(当社にリスクのないリース負債除く)
- *2 発行済ハイブリッド社債の資本性50%を調整



25.3期 見通しの対前年実績比較(経常利益)

※ 25.3期見通しは、前回見通し(2024年10月31日公表)から国内エネルギーのセグメント利益内訳を修正

(主な増減要素を記載)



*1 セグメント利益影響

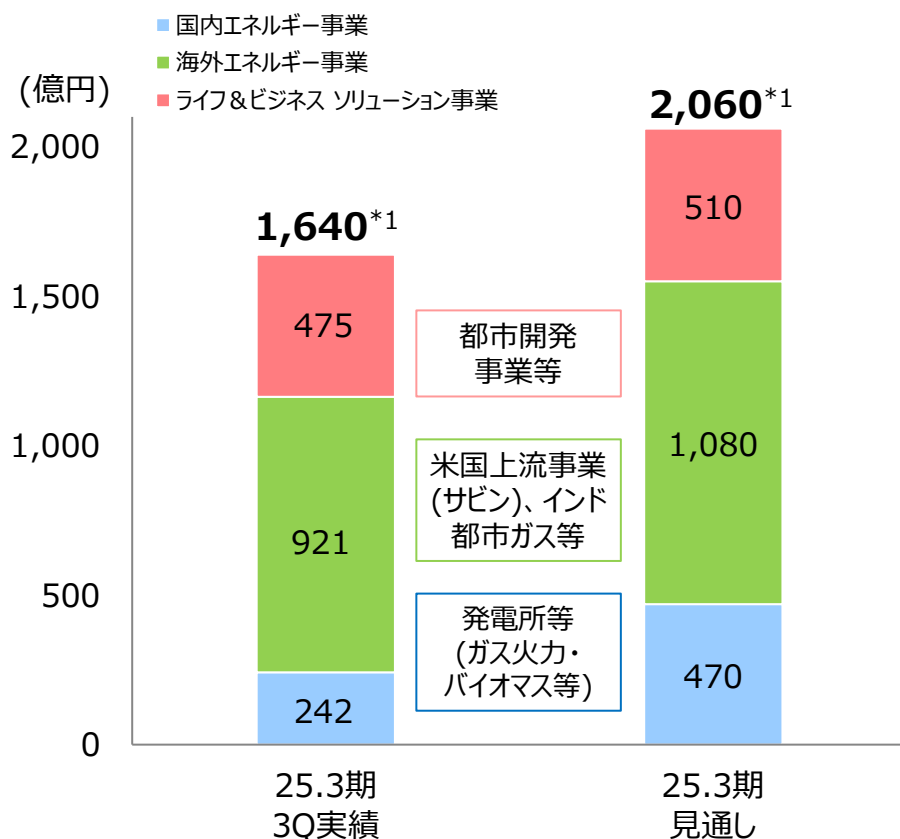
*2 デリバティブ時価評価影響を含む
(24.3期は23億円)

*3 持分法投資損益を除く

成長投資と株主還元の実績と見通し

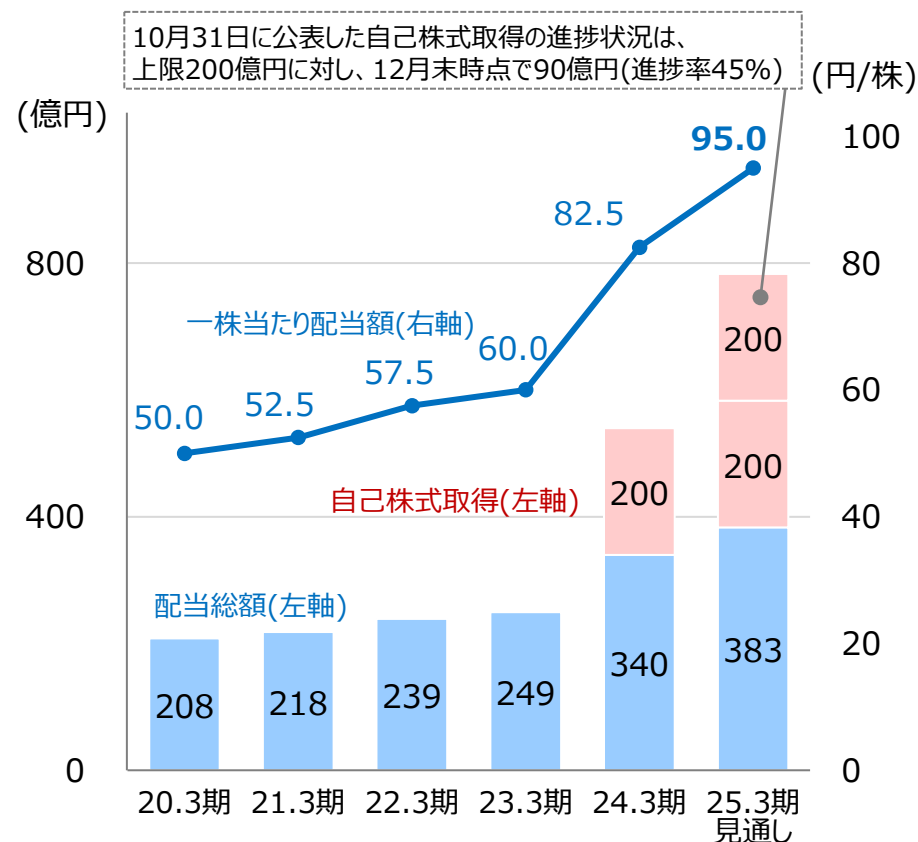
- ✓ 25.3期第3四半期の成長投資額は、1,640億円。
- ✓ 25.3期の株主還元は、すでに公表している自己株式取得400億円、配当95円/株を予定。

成長投資



*1 成長投資額には設備投資案件以外に出資・融資案件を含むため、設備投資額とは異なる

株主還元



Ⅱ. 25.3期 第3四半期決算の対前年比較

25.3期 第3四半期決算の対前年比較 - ①売上高、利益等

億円	A. 25.3期 3Q実績	B. 24.3期 3Q実績	A-B	(A-B)/B	備考
売上高	14,441	15,101	-660	-4.4%	LNG販売量の減少 等
営業利益	995	1,406	-411	-29.3%	タイムラグ差損益 等
経常利益	1,255	1,745	-490	-28.1%	タイムラグ差損益 等
タイムラグ差損益 ^{*1}	54	367	-312	-85.2%	
(個別)ガス事業	46	225	-178	-79.3%	
(個別)電力事業	7	141	-133	-94.6%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	908	1,264	-355	-28.1%	タイムラグ差損益 等
一株あたり当期純利益(円)	224.4	304.5	-80.1	-26.3%	
EBITDA ^{*2}	2,140	2,496	-355	-14.3%	タイムラグ差損益 等
NOPAT ^{*3}	938	1,306	-368	-28.2%	タイムラグ差損益 等

*1 国内エネルギーの内数

*2 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 (のれん償却費含む) + 持分法投資損益

*3 NOPAT = 経常利益 + 支払利息 - 受取利息 - 法人税等

	A. 25.3期 3Q実績	B. 24.3期 3Q実績	A-B	備考
原油価格(\$/bbl)	83.7	86.6	-2.9	25.3期実績は12月速報値までの平均
為替(円/\$)	152.6	143.3	+9.3	

25.3期 第3四半期決算の対前年比較 - ②資産等

億円	A. 25.3期 3Q末実績	B. 24.3期 期末実績	A-B	備考
総資産	32,499	29,801	+2,698	
自己資本	15,908	15,775	+133	
一株当たり純資産(円)	3,973.2	3,857.5	+115.7	
株主資本	12,694	12,463	+230	
有利子負債	11,534	9,382	+2,151	
ハイブリッド社債	1,750	1,750	±0	

	A. 25.3期 3Q実績	B. 24.3期 3Q実績	A-B	備考
ROIC ^{*1}	3.6%	5.3%	-1.7%	タイムラグ差損益 等
ROE	5.7%	8.5%	-2.7%	タイムラグ差損益 等

*1 ROIC = NOPAT ÷ 投下資本 (期首期末平均)

NOPAT = 経常利益 + 支払利息 - 受取利息 - 法人税等

投下資本 = 自己資本 + 有利子負債残高 (当社にリスクのないリース負債除く)

	A. 25.3期 3Q末実績	B. 24.3期 期末実績	A-B	備考
自己資本比率	49.0%	52.9%	-4.0%	
ハイブリッド社債考慮後 ^{*2}	51.6%	55.9%	-4.2%	
D/E比率	0.73	0.59	+0.13	
ハイブリッド社債考慮後 ^{*2}	0.64	0.51	+0.12	

*2 発行済ハイブリッド社債の資本性50%を調整

25.3期 第3四半期決算の対前年比較 - ③投資、キャッシュ・フロー等

億円	A. 25.3期 3Q実績	B. 24.3期 3Q実績	A-B	備考
投資額(A+B)	2,077	1,678	+398	
品質向上投資(A)	436	475	-38	
成長投資(B)	1,640	1,202	+437	
国内エネルギー	242	300	-57	
海外エネルギー	921	573	+348	
ライフ&ビジネス ソリューション	475	328	+146	
設備投資額(投資額の内数) ^{*1}	1,544	1,451	+93	
減価償却費(のれん償却費含む)	953	884	+68	

*1 設備投資額 (投資額の内数) = 投資額 - 出資額(M&A、既存関係会社への追加出資等)

億円	A. 25.3期 3Q実績	B. 24.3期 3Q実績	A-B	備考
フリーキャッシュフロー ^{*2}	-702	558	-1,261	

*2 フリーキャッシュフロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー - 投資活動によるキャッシュ・フロー

25.3期 第3四半期決算の対前年比較 - ④件数、販売量等

	A. 25.3期	B. 24.3期	A-B	(A-B)/B	備考
	3Q末実績	3Q末実績			
お客さまアカウント数(千件)	10,584	10,269	+315	+3.1%	
ガス ^{*1}	5,387	5,319	+68	+1.3%	
電力 ^{*2}	2,386	2,206	+179	+8.1%	
その他	2,811	2,744	+68	+2.5%	

*1 ガス供給件数と持分法適用会社の供給件数の合計（ワンタッチ卸先の供給件数を除く）

*2 低圧電気供給件数および持分法適用会社の供給件数などの合計

	A. 25.3期	B. 24.3期	A-B	(A-B)/B	備考
	3Q実績	3Q実績			
国内ガス販売量(百万m ³) ^{*3,4}	4,652	4,670	-18	-0.4%	
家庭用	996	1,044	-48	-4.6%	
業務用等	3,656	3,626	+30	+0.8%	
ガス供給件数(千件)	5,095	5,037	+58	+1.1%	
国内電力販売量(百万kWh) ^{*4}	11,774	10,713	+1,061	+9.9%	
小売	5,261	4,828	+433	+9.0%	
卸等	6,513	5,885	+628	+10.7%	
低圧電気供給件数(千件)	1,888	1,811	+77	+4.3%	

	A. 25.3期	B. 24.3期	A-B	備考
	3Q実績	3Q実績		
平均気温(°C)	21.7	21.0	+0.7	

*3 45MJ/m³

*4 ガス販売量及び電力販売量は、販売に係る収益を「収益認識に関する会計基準の適用指針」に基づき見積り計上していることから、決算月に実施した検針の日から決算日まで生じた使用量の見積りを反映させたものを記載しております

25.3期 第3四半期決算の対前年比較 - ⑤セグメント別

億円	A. 25.3期 3Q実績	B. 24.3期 3Q実績	A-B	(A-B)/B	備考
売上高	14,441	15,101	-660	-4.4%	
国内エネルギー	12,060	12,830	-769	-6.0%	LNG販売量の減少 等
海外エネルギー	916	797	+119	+15.0%	
ライフ&ビジネス ソリューション	2,000	2,004	-3	-0.2%	
調整	-537	-530	-7	-	

経常利益	1,255	1,745	-490	-28.1%	
セグメント利益 ^{*1}	1,187	1,612	-424	-26.3%	
国内エネルギー	380	800	-419	-52.4%	タイムラグ差損益 等
内、電力	224	285	-60	-21.3%	タイムラグ差損益 等
海外エネルギー	550	549	+0	+0.1%	
ライフ&ビジネス ソリューション	216	241	-25	-10.4%	情報ソリューション事業の減益 等
調整	40	21	+19	+91.3%	
営業外(持分法投資損益を除く)	67	133	-65	-49.3%	

タイムラグ差損益 ^{*2}	54	367	-312	-85.2%	
(個別)ガス事業	46	225	-178	-79.3%	
(個別)電力事業	7	141	-133	-94.6%	
ヘッジ会計適用外の デリバティブ時価評価影響 ^{*3}	2	32	-30	-93.7%	

*1 セグメント利益 = 営業利益 + 持分法投資損益

*2 国内エネルギーの内数

*3 海外エネルギーの内数

Ⅲ. 25.3期 見通しの対前回見通し比較

25.3期 見通しの対前回見通し比較- ①売上高・利益等

億円	A. 25.3期 今回見通し	B. 25.3期 10/31見通し	A-B	(A-B)/B	備考
売上高	19,860	19,860	±0	±0%	
営業利益	1,235	1,235	±0	±0%	
経常利益	1,530	1,530	±0	±0%	
タイムラグ差損益 ^{*1}	90	120	-30	-25.0%	
(個別)ガス事業	90	110	-20	-18.2%	
(個別)電力事業	0	10	-10	-100.0%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,120	1,120	±0	±0%	
一株当たり当期純利益(円) ^{*2}	276.6	276.6	±0.0	±0%	
EBITDA ^{*3}	2,780	2,780	±0	±0%	
NOPAT ^{*4}	1,222	1,222	±0	±0%	

*1 国内エネルギーの内数

*2 25.3期見通しの「一株当たり当期純利益」の計算には、2024年10月公表の自己株式取得分の影響は含んでおりません。

*3 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 (のれん償却費含む) + 持分法投資損益

*4 NOPAT = 経常利益 + 支払利息 - 受取利息 - 法人税等

	A. 25.3期 今回見通し	B. 25.3期 10/31見通し	A-B	備考
原油価格(\$/bbl)	81.7	80.9	+0.8	4Q前提：75\$/bbl
為替(円/\$)	152.0	148.9	+3.1	4Q前提：150円/\$

25.3期 見通しの対前回見通し比較- ②資産等

億円	A. 25.3期 今回見通し	B. 25.3期 10/31見通し	A-B	備考
総資産	32,345	31,515	+830	円安による海外資産額の増加 等
自己資本	16,610	16,110	+500	円安による為替換算調整勘定の増加
一株当たり純資産(円) ^{*1}	4,119.4	3,995.4	+124.0	自己資本の増加
株主資本	12,785	12,785	±0	
有利子負債	10,980	10,980	±0	

*1 25.3期見通しの「一株当たり純資産」の計算には、2024年10月公表の自己株式取得分の影響は含んでおりません。

	A. 25.3期 今回見通し	B. 25.3期 10/31見通し	A-B	備考
ROIC ^{*2}	4.7%	4.7%	-0.0%	
ROE	6.9%	7.0%	-0.1%	自己資本の増加

*2 ROIC = NOPAT ÷ 投下資本 (期首期末平均) NOPAT = 経常利益 + 支払利息 - 受取利息 - 法人税等
 投下資本 = 自己資本 + 有利子負債残高 (当社にリスクのないリース負債除く)
 セグメント別ROIC見通しは、国内エネルギー 2.9%、海外エネルギー 7.3%、LBS 5.4%

	A. 25.3期 今回見通し	B. 25.3期 10/31見通し	A-B	備考
自己資本比率	51.4%	51.1%	+0.2%	
ハイブリッド社債考慮後 ^{*3}	54.1%	53.9%	+0.2%	
D/E比率	0.66	0.68	-0.02	
ハイブリッド社債考慮後 ^{*3}	0.58	0.59	-0.02	
DOE ^{*4}	3.1%	3.1%	±0.0%	

*3 発行済ハイブリッド社債の資本性50%を調整

*4 DOE = 一株当たり年間配当金(DPS) ÷ 一株当たり株主資本 (期首期末平均)

25.3期見通しの「DOE」の計算には、2024年10月公表の自己株式取得分の影響は含んでおりません。

25.3期 見通しの対前回見通し比較- ③投資、キャッシュ・フロー等

億円	A. 25.3期 今回見通し	B. 25.3期 10/31見通し	A-B	備考
投資額(A+B)	3,000	3,000	±0	
品質向上投資(A)	940	940	±0	
成長投資(B)	2,060	2,060	±0	
国内エネルギー	470	470	±0	
海外エネルギー	1,080	1,080	±0	
ライフ&ビジネス ソリューション	510	510	±0	
設備投資額(投資額の内数) ^{*1}	2,480	2,480	±0	
減価償却費(のれん償却費含む)	1,240	1,240	±0	

*1 設備投資額 (投資額の内数) = 投資額 - 出資額(M&A、既存関係会社への追加出資等)

億円	A. 25.3期 今回見通し	B. 25.3期 10/31見通し	A-B	備考
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,430	2,430	±0	
投資活動によるキャッシュ・フロー ^{*2}	3,000	3,000	±0	
フリーキャッシュフロー ^{*3}	-570	-570	±0	

*2 見通しは投資額を記載

*3 フリーキャッシュフロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー - 投資活動によるキャッシュ・フロー

25.3期 見通しの対前回見通し比較- ④件数、販売量等

	A. 25.3期 今回見通し	B. 25.3期 10/31見通し	A-B	(A-B)/B	備考
お客さまアカウント数(千件)	10,530	10,530	±0	±0%	

	A. 25.3期 今回見通し	B. 25.3期 10/31見通し	A-B	(A-B)/B	備考
国内ガス販売量(百万m ³)* ^{1,2}	6,617	6,659	-42	-0.6%	
家庭用	1,637	1,707	-70	-4.1%	3Qまでの実績を反映
業務用等	4,980	4,952	+28	+0.6%	
国内電力販売量(百万kWh)* ²	16,580	15,964	+616	+3.9%	3Qまでの実績を反映

	A. 25.3期 今回見通し	B. 25.3期 10/31見通し	A-B	備考
平均気温(°C)	18.3	18.0	+0.3	

*1 45MJ/m³

*2 ガス販売量及び電力販売量は、販売に係る収益を「収益認識に関する会計基準の適用指針」に基づき見積り計上していることから、決算月に実施した検針の日から決算日までに生じた使用量の見積りを反映させたものを記載しております

25.3期 見通しの対前回見通し比較- ⑤セグメント別

億円	A. 25.3期 今回見通し	B. 25.3期 10/31見通し	A-B	(A-B)/B	備考
売上高	19,860	19,860	±0	±0%	
国内エネルギー	16,400	16,400	±0	±0%	
海外エネルギー	1,250	1,250	±0	±0%	
ライフ&ビジネス ソリューション	2,860	2,860	±0	±0%	
調整	-650	-650	±0	-	
経常利益	1,530	1,530	±0	±0%	
セグメント利益^{*1}	1,540	1,540	±0	±0%	
国内エネルギー	545	545	±0	±0%	
内、電力	300	250	+50	+20.0%	需給調整市場での増益 等
海外エネルギー	705	705	±0	±0%	
ライフ&ビジネス ソリューション	300	300	±0	±0%	
調整	-10	-10	±0	-	
営業外(持分法投資損益を除く)	-10	-10	±0	-	
タイムラグ差損益^{*2}	90	120	-30	-25.0%	
(個別)ガス事業	90	110	-20	-18.2%	
(個別)電力事業	0	10	-10	-100.0%	

*1 セグメント利益 = 営業利益 + 持分法投資損益

*2 国内エネルギーの内数

IV. 25.3期 見通しの対前年実績比較

25.3期 見通しの対前年実績比較- ①売上高・利益等

億円	A. 25.3期 見通し	B. 24.3期 実績	A-B	(A-B)/B	備考
売上高	19,860	20,830	-970	-4.7%	LNG販売量の減少 等
営業利益	1,235	1,725	-490	-28.4%	タイムラグ差損益 等
経常利益	1,530	2,265	-735	-32.5%	タイムラグ差損益 等
タイムラグ差損益 ^{*1}	90	285	-195	-68.4%	
(個別)ガス事業	90	146	-56	-38.4%	
(個別)電力事業	0	139	-139	-100.0%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,120	1,326	-206	-15.6%	タイムラグ差損益 等
一株当たり当期純利益(円) ^{*2}	276.6	320.6	-44.0	-13.7%	
EBITDA ^{*3}	2,780	3,281	-501	-15.3%	タイムラグ差損益 等
NOPAT ^{*4}	1,222	1,688	-466	-27.6%	タイムラグ差損益 等

*1 国内エネルギーの内数

*2 25.3期見通しの「一株当たり当期純利益」の計算には、2024年10月公表の自己株式取得分の影響は含んでおりません。

*3 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 (のれん償却費含む) + 持分法投資損益

*4 NOPAT = 経常利益 + 支払利息 - 受取利息 - 法人税等

	A. 25.3期 見通し	B. 24.3期 実績	A-B	備考
原油価格(\$/bbl)	81.7	86.0	-4.2	4Q前提：75\$/bbl
為替(円/\$)	152.0	144.6	+7.4	4Q前提：150円/\$

25.3期 見通しの対前年実績比較- ②資産等

億円	A. 25.3期 見通し	B. 24.3期 期末実績	A-B	備考
総資産	32,345	29,801	+2,543	
自己資本	16,610	15,775	+834	
一株当たり純資産(円) ^{*1}	4,119.4	3,857.5	+261.9	
株主資本	12,785	12,463	+321	
有利子負債	10,980	9,382	+1,597	

*1 25.3期見通しの「一株当たり純資産」の計算には、2024年10月公表の自己株式取得分の影響は含んでおりません。

	A. 25.3期 見通し	B. 24.3期 実績	A-B	備考
ROIC ^{*2}	4.7%	7.0%	-2.3%	タイムラグ差損益 等
ROE	6.9%	8.9%	-2.0%	タイムラグ差損益 等

*2 ROIC = NOPAT ÷ 投下資本 (期首期末平均) NOPAT = 経常利益 + 支払利息 - 受取利息 - 法人税等
 投下資本 = 自己資本 + 有利子負債残高 (当社にリスクのないリース負債除く)
 セグメント別ROIC見通しは、国内エネルギー 2.9%、海外エネルギー 7.3%、LBS 5.4%

	A. 25.3期 見通し	B. 24.3期 期末実績	A-B	備考
自己資本比率	51.4%	52.9%	-1.6%	
ハイブリッド社債考慮後 ^{*3}	54.1%	55.9%	-1.8%	
D/E比率	0.66	0.59	+0.07	
ハイブリッド社債考慮後 ^{*3}	0.58	0.51	+0.07	
DOE ^{*4}	3.1%	2.8%	0.2%	

*3 発行済ハイブリッド社債の資本性50%を調整

*4 DOE = 一株当たり年間配当金(DPS) ÷ 一株当たり株主資本 (期首期末平均)
 25.3期見通しの「DOE」の計算には、2024年10月公表の自己株式取得分の影響は含んでおりません。

25.3期 見通しの対前年実績比較- ③投資、キャッシュ・フロー等

億円	A. 25.3期 見通し	B. 24.3期 実績	A-B	備考
投資額(A+B)	3,000	2,395	+604	
品質向上投資(A)	940	733	+206	
成長投資(B)	2,060	1,662	+397	
国内エネルギー	470	327	+142	
海外エネルギー	1,080	838	+241	
ライフ&ビジネス ソリューション	510	495	+14	
設備投資額(投資額の内数) ^{*1}	2,480	1,984	+495	
減価償却費(のれん償却費含む)	1,240	1,235	+4	

*1 設備投資額(投資額の内数) = 投資額 - 出資額(M&A、既存関係会社への追加出資等)

億円	A. 25.3期 見通し	B. 24.3期 実績	A-B	備考
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,430	3,126	-696	
投資活動によるキャッシュ・フロー ^{*2}	3,000	2,159	+840	
フリーキャッシュフロー ^{*3}	-570	966	-1,536	

*2 見通しは投資額を記載

*3 フリーキャッシュフロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー - 投資活動によるキャッシュ・フロー

25.3期 見通しの対前年実績比較- ④件数、販売量等

	A. 25.3期 見通し	B. 24.3期 期末実績	A-B	(A-B)/B	備考
お客さまアカウント数(千件)	10,530	10,384	+146	+1.4%	

	A. 25.3期 見通し	B. 24.3期 実績	A-B	(A-B)/B	備考
国内ガス販売量(百万m ³)* ^{1,2}	6,617	6,646	-29	-0.4%	
家庭用	1,637	1,721	-84	-4.9%	
業務用等	4,980	4,925	+55	+1.1%	
国内電力販売量(百万kWh)* ²	16,580	15,308	+1,272	+8.3%	

	A. 25.3期 見通し	B. 24.3期 実績	A-B	備考
平均気温(°C)	18.3	17.9	+0.4	

*1 45MJ/m³

*2 ガス販売量及び電力販売量は、販売に係る収益を「収益認識に関する会計基準の適用指針」に基づき見積り計上していることから、決算月に実施した検針の日から決算日までに生じた使用量の見積りを反映させたものを記載しております

25.3期 見通しの対前年実績比較- ⑤セグメント別

億円	A. 25.3期 見通し	B. 24.3期 実績	A-B	(A-B)/B	備考
売上高	19,860	20,830	-970	-4.7%	
国内エネルギー	16,400	17,706	-1,306	-7.4%	LNG販売量の減少 等
海外エネルギー	1,250	1,164	+85	+7.3%	円安影響 等
ライフ&ビジネス ソリューション	2,860	2,740	+119	+4.4%	
調整	-650	-780	+130	-	

経常利益	1,530	2,265	-735	-32.5%	
セグメント利益 ^{*1}	1,540	2,045	-505	-24.7%	
国内エネルギー	545	922	-377	-40.9%	タイムラグ差損益 等
内、電力	300	314	-14	-4.6%	タイムラグ差損益 等
海外エネルギー	705	796	-91	-11.5%	
ライフ&ビジネス ソリューション	300	310	-10	-3.3%	
調整	-10	15	-25	-	
営業外(持分法投資損益を除く)	-10	220	-230	-	

タイムラグ差損益 ^{*2}	90	285	-195	-68.4%	
(個別)ガス事業	90	146	-56	-38.4%	
(個別)電力事業	0	139	-139	-100.0%	

*1 セグメント利益 = 営業利益 + 持分法投資損益

*2 国内エネルギーの内数

V. 補足情報

通期見通しに対する主な収支変動要因

気温・水温影響

	変動幅	家庭用ガス販売量への影響
気水温	+1℃	-7%

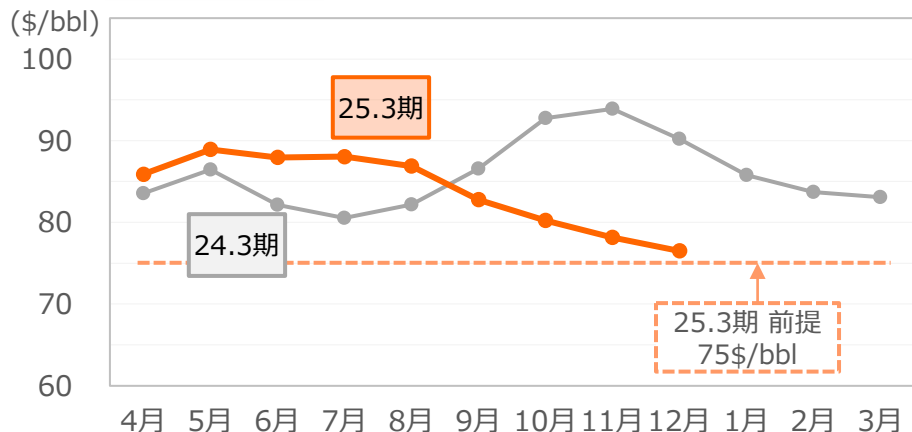
油価・為替影響

変動幅 (2025年 1月以降の変化)		セグメント	収支影響	経常利益への 影響額
原油 価格 (JCC)	+ 1\$/bbl	海外エネルギー	影響なし	-1.3億円
		国内エネルギー	減益	
為替 レート	+ 1円/\$ (円安)	海外エネルギー	影響なし	-7.9億円
		国内エネルギー	減益	

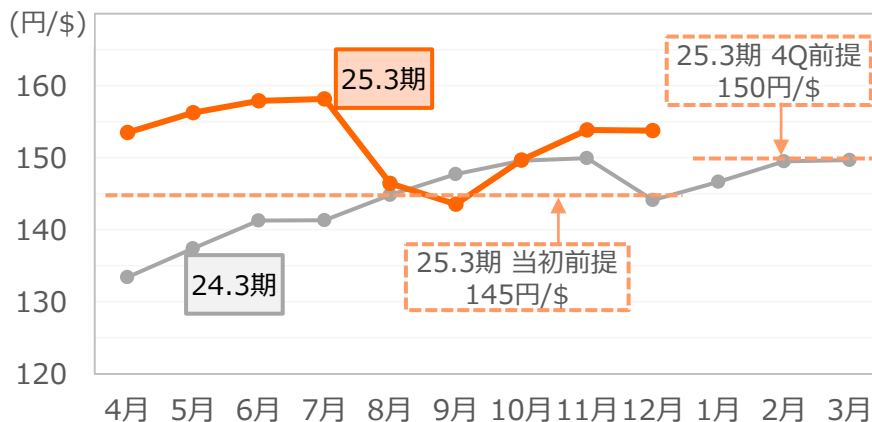
- 上表は25年1月1日以降の指標が変動した場合の、今年度の収支影響を表示。
- 25年1月1日に為替が変動した場合、国内エネルギーは年度内にタイムラグ差損益が生じるが、海外エネルギーは1-12月期決算であるため、今年度収支への影響はない。

原油・為替の推移とタイムラグ(ガス)の状況

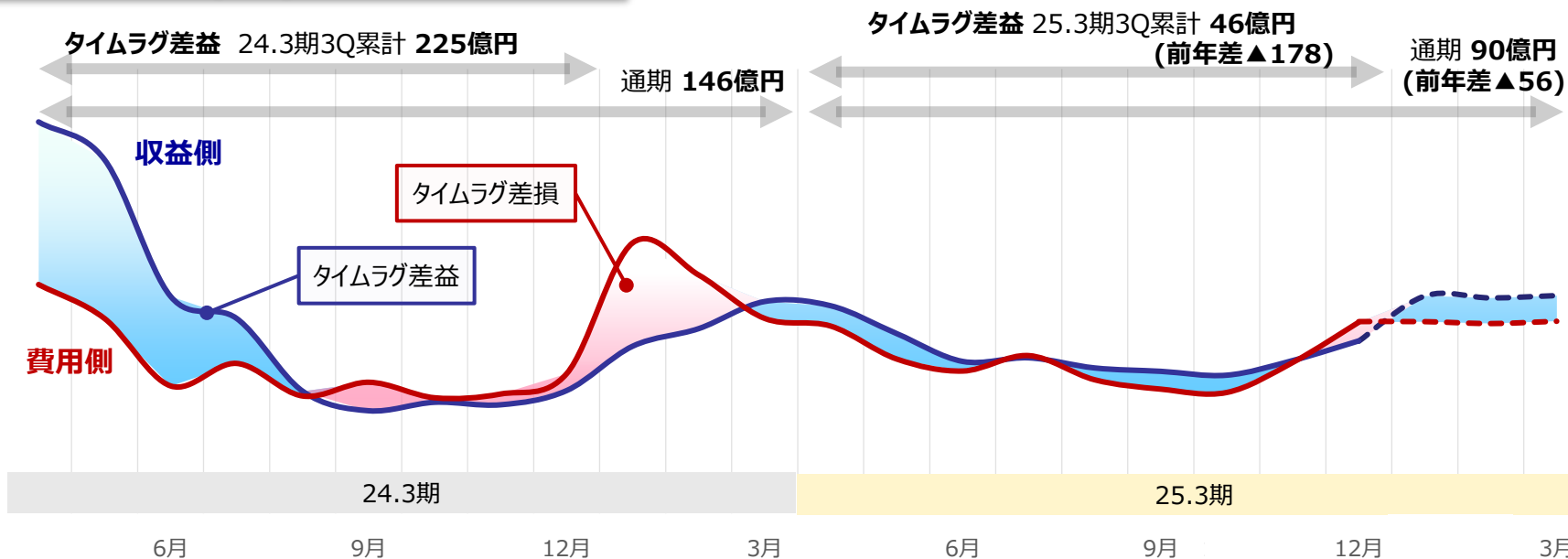
原油(JCC)



為替レート



タイムラグ(ガス)差損益のイメージ



IR参考資料

資料(公表年月)	リンク
IR情報ホームページ	Daigasグループ> IR情報> (https://www.daigasgroup.com/ir/)
■ 統合報告書2024 (2024/9)	Daigasグループ> IR情報> 統合報告書
■ ファクトブック2024 (2024/10)	Daigasグループ> IR情報> ファクトブック
■ 中期経営計画2026 (2024/3)	Daigasグループ> IR情報> 経営ビジョン・経営計画> 中長期経営計画> 中期経営計画
■ エネルギー トランジション2030 (2023/3)	Daigasグループ> IR情報> 経営ビジョン・経営計画> カーボンニュートラルに向けた挑戦

統合報告書2024のご紹介

- 価値創造に向けた戦略の理解をより深めていただくため、強み、リスクや機会を整理
- 「中期経営計画2026」で描く成長ストーリーにフォーカス
- ステークホルダーとの信頼の維持向上に向けた対話や体制強化の状況をご報告



